

令和3年1月15日

第2次日向市総合計画・後期基本計画（案）
パブリックコメントの実施結果と市としての考え方について

「第2次日向市総合計画・後期基本計画」の策定にあたり、パブリックコメントを実施しました。
ここに、その結果と提出されたご意見に対する市の考え方を公表します。

1、募集期間

令和2年12月18日（金）～令和3年1月8日（金）まで

2、計画素案の公表場所

日向市役所（総合政策課）、東郷総合支所、細島支所、岩脇支所、美々津支所
市のホームページ（<http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/>）

3、意見提出者（意見数）

市内在住者1名（1件）

4、ご意見及び回答

以下のとおり

（担当：日向市総合政策部総合政策課 政策推進係）

意見内容	市の考え方
無駄な公共施設が多く感じられています。利用価値があるのに有効活用してなかったり、地域住民との話し合いをしたりすすめていけば解決したりできます。今、人口は減少するし、高齢化がすすんでいく現在の日向市。防災に対しても高齢者同士の助け合いになってまいります。 私の考え方は、公民館が必要な所になく、山村部分には農業集落センターなど地域住民が集まる箇所は多数ある。機能しているかは地域住民でないと分からない。 行政サービスは、市街地に集中しているため高齢者や生活弱者が利用するにしても遠方である。又図書館も同じです。日向市内の公民館（日知屋公民館、大王谷公民館、南日向公民館）、支所（細島、美々津、東郷）これら公共施設の強化 市民課、国民年金、税金、福祉事務所等そのような機能があつたら近くで対応できると思います。市役所を定年退職された方が各地域にいれば良いと思います。 図書館についても各日向市内の公民館や支所にも図書館があると高齢者や生活弱者の方の利用も増えます。ネットワークで閲覧できる重要な資料も1ヶ所に置くより分担しておくで紛失したら終わりにならないと思います。 日向社協や消防署を日向市役所近隣に配置させ防災やボランティア等配置を統制していく事も必要ではないでしょうか？ 日向警察署跡に日向社協を移転し日向社協の跡に多機能公民館（新財市地区、富高地区）にすれば良いと思います。 日向社協にしてもあいとびあや中央公民館が側にあるので福祉のイベントが一本の線につながると思います。 市役所も側にあるため日向市との連携がとれると思います。 体育館を大王谷に移転することになれば、消防本部を移転し万が一の場合、連携がとれるのではないのでしょうか。ヘリポートも市内に少ないと思います。	人口減少、少子高齢化が進展する中で、市が保有する公共施設の改修・更新に要する費用は増大することが予想されるため、本市では、平成28（2016）年度に日向市公共施設等総合管理計画を策定し、令和27（2045）年度までに公共施設の延べ床面積を30％削減することを目標に掲げています。 公共施設を用途別に見ると、学校施設や公民館などの教育施設・公営住宅が、全体の約75％を占めているため、老朽化の著しい施設や低稼働の施設を中心に、統廃合や今後のあり方に関する検討を進めているところです。 具体的には、老朽化に伴う改築とあわせて周辺の公共施設の機能を集約する細島小学校の複合化をはじめ、閉校した旧幸脇小学校や旧坪谷中学校を民間事業者へ貸し付け、利活用を図る取組とともに、支所の機能やあり方の検討、未利用施設の売却等を進めています。 図書館につきましては、平成9年に旧保健所を改修し、移転したものでありますが、既に、築55年が経過し老朽化しており、スペースも狭小であることが課題となっています。 後期基本計画では、複合的な機能を備えた新たな図書館の整備に向けた調査研究をスタートする予定ですが、現在の図書館につきましても、サービス向上に努めるとともに、各公民館に設置している図書室についての周知やより多くの地域住民の皆さんに利用していただけるよう努めてまいりたいと考えております。 今後見込まれる少子高齢化に伴う人口減少や社会保障費の増加等への対応はもとより、近い将来発生が予想される南海トラフ地震等の災害に備える視点からも、公共施設を「ヒト・モノ・カネ」といった経営資源の一つに位置付け、効果的・効率的に配置しながら、身の丈にあった保有と最大限に活用していくことが大変重要です。 市では、「後期基本計画」「行財政改革大綱」に基づき、引き続き、社会情勢や市民ニーズの変化を見極めつつ、これからの公共施設や持続可能な行政サービスのあり方等について、市民の皆さんと共に考えながら、各種取組を推進してまいります。